

平成 18 年度 CSI 委託事業（領域 1）優良事例一覧

- 1 . 北海道大学：多様な広報活動、利用者フィードバック
 - ・ 研究室訪問(20 回)のほか，電子メールによる個別協力依頼(1,000 回程度)，サイエンスコミュニケーション広報誌の刊行，ポスターの掲示など多様な広報活動
 - ・ 学術誌論文中心の収録件数(約 13,000 件)
 - ・ 月平均約 4 万回のダウンロード。
 - ・ 個々の論文のダウンロード状況は提供者へ毎月 1 回電子メール通知するなど登録促進の取組

- 2 . 千葉大学：多様なコンテンツ、国際連携
 - ・ 博士論文、紀要といった論文コンテンツからサイエンス・データまでの各種コンテンツを搭載
 - ・ エルゼビア社の無料学術情報検索エンジン Scirus とパートナーシップ締結

- 3 . お茶の水女子大学：全学的コンテンツ提供、システム自力構築情報提供
 - ・ 著作権についての学内研修会実施による学内意識の強化
 - ・ 学長以下ほぼ全教員（230 名）からのコンテンツ提供
 - ・ DSpace を自力構築した作業日誌をブログとして公開
http://d.hatena.ne.jp/ocha_repo/

- 4 . 信州大学：総合的学術情報システム、認証実装、オープンソース提供
 - ・ 「信州大学学術情報オンラインシステム：Shinshu University Online System of General Academic Resources (SOAR)」
 - ・ 研究者総覧検索システム、ネイティブ XML データベースエンジン、DSpace 用 DB 連携機能付加ソフトをオープンソースで提供

- 5 . 三重大学：広報活動
 - ・ 情報リテラシー教育支援活動を背景に広報活動を実施
 - ・ 紀要以外の論文提供数が 2 ヶ月で約 1,000 件
 - ・ Agropedia という農学情報資源システムで本文公開済みの紀要について，生物資源学部から著作権の包括許諾を取得。

- 6 . 広島大学：コンテンツ収集、E-repository ユーザ会
 - ・ コンテンツ種別ごとの収集戦略、許諾調査、提供依頼の実施

- ・ E-repository ユーザ会の設立、情報交換
- 7 . 早稲田大学：特色あるコンテンツ
- ・ コンテンツ調査、知的財産権処理の実施
 - ・ アイヌ語資料・教材（音声およびテキスト）, 大学創設者である大隈重信資料約 3,000 件
- 8 . 地域リポジトリ
- (1) 広島大学・長崎大学・山形大学（山形県内）・名古屋大学（東海地区全体）:
- ・ 地域大学との連携
- (2) 岡山大学：公立図書館との連携
- ・ 岡山大学の機関リポジトリ ePrints@OUDIR と岡山県立図書館「デジタル岡山大百科」との連携